

PAT-NO: JP405120298A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05120298 A

TITLE: MONEY SETTLEMENT SYSTEM

PUBN-DATE: May 18, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HAYASHI, YOSHIHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

CHUBU NIPPON DENKI SOFTWARE KK

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP03284574

APPL-DATE: October 30, 1991

INT-CL (IPC): G06F015/21, G06F015/30

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent a securities firm from having a loss as a result of the settlement of money.

CONSTITUTION: A registering means 21 registers information regarding a customer that the securities firm makes a contact with in an information holding means 23 as information for confirming the person himself at the time of transfer and a registering means 22 information on the money deposited by the contract customer in the information holding means 23.

A transfer amount
confirming means 25 judges whether the amount of money
indicated by the amount
information on the customer held in the information holding
means 24 is less
than the amount of money deposited by the customer
indicated by the deposited
money information take out of the information holding means
23 when
customer-classified information is held in the transfer
information holding
means 24. When so, a money transfer means 26 transfers
money indicated by the
amount information held in the information holding means 24
to an account 31
provided to a financial institution 3 according to the
information held by the
information holding means 23.

COPYRIGHT: (C)1993, JPO&Japio

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-120298

(43)公開日 平成5年(1993)5月18日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/21	Q	7218-5L		
15/30	3 6 0	6798-5L		

審査請求 未請求 請求項の数 3(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-284574

(22)出願日 平成3年(1991)10月30日

(71)出願人 000213301

中部日本電気ソフトウェア株式会社
愛知県名古屋市中区新栄2丁目28番22号

(72)発明者 林 義浩

愛知県名古屋市中区新栄二丁目28番22号
中部日本電気ソフトウェア株式会社内

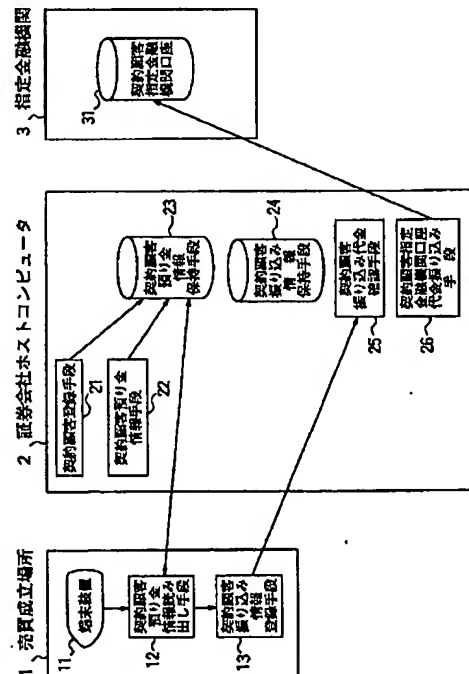
(74)代理人 弁理士 岩佐 義幸

(54)【発明の名称】 代金決済システム

(57)【要約】

【目的】 代金の決済に伴って証券会社が損をすることがないようにする。

【構成】 予め登録手段21により、証券会社が契約している顧客に関する情報を、振込時に本人であることを確認するための情報として情報保持手段23に登録し、登録手段22により、契約顧客の預り金の額の情報を情報保持手段23に登録する。振り込み代金確認手段25は、振り込み情報保持手段24に顧客識別情報が保持されているとき、情報保持手段24に保持されているその顧客の代金情報が表す代金の額が、情報保持手段23から取り出した預り金情報が表す同顧客の預り金の額以下か否かを判断する。判断結果が正の場合、代金振り込み手段26は、情報保持手段24に保持された代金情報が表す額の代金を、金融機関3に設けられた口座31に、情報保持手段23が保持する情報にもとづいて振り込む。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】証券会社に設置された代金振り込み装置と、売買成立場所に設置された振り込み登録装置とからなり、

前記代金振り込み装置は、

顧客に関する情報を保持する顧客情報保持手段と、

代金を支払うべき第1の顧客に関する情報と、代金を受け取るべき第2の顧客に関する情報とを前記顧客情報保持手段に登録する契約顧客登録手段と、

顧客の預り金の額を表す情報を保持する預り金情報保持手段と、

前記第1の顧客の預り金の額を表す情報を前記預り金情報保持手段に登録する預り金情報登録保持手段と、

前記第1の顧客を表す所定の情報と、前記第1の顧客が支払うべき代金の額の情報を保持する振り込み情報保持手段と、

この振り込み情報保持手段に前記第1の顧客を表す前記情報が保持されているとき、前記振り込み情報保持手段に保持されている前記情報が表す前記第1の顧客が支払うべき代金の額が、前記預り金情報保持手段が保持する前記情報が表す前記第1の顧客の預り金の額以下か否かを判断する振り込み代金確認手段と、

この振り込み代金確認手段による判断の結果が正の場合、前記振り込み情報保持手段に保持された前記情報が表す額の前記代金を、金融機関に設けられた前記第2の顧客の口座に、前記顧客情報保持手段が保持する情報にもとづいて振り込む代金振り込み手段とを備え、

前記振り込み登録装置は、

端末装置と、

この端末装置における操作にもとづいて、前記第1の顧客の預り金の額を表す情報を前記預り金情報保持手段から読み出す預り金情報読み出し手段と、

前記第1の顧客を表す前記情報と、前記第1の顧客が支払うべき代金の額を表す情報とを前記振り込み情報保持手段に登録する振り込み情報登録手段とを備えたことを特徴とする代金決済システム。

【請求項2】前記顧客に関する情報は、顧客の氏名、住所、電話番号を含むことを特徴とする請求項1記載の代金決済システム。

【請求項3】前記代金振り込み装置は第1の情報処理装置により構成され、前記振り込み登録装置は、第2の情報処理装置により構成されていることを特徴とする請求項1記載の代金決済システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、証券会社が代金を支払うべき顧客に代って、代金を受け取るべき顧客に代金を支払うためのシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、売買成立時の受渡しは次のように

2

行われていた。すなわち、証券会社が第1および第2の顧客と取り引き関係を契約しており、第1の顧客が代金を第2の顧客に支払う場合、証券会社は第1の顧客に代って第2の顧客に代金を支払い、後日、第1の顧客は証券会社に振り替えまたは現金により代金を支払う。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このような代金決済法では、代金を支払うべき第1の顧客が証券会社と契約さえしていれば、証券会社は必ず代金を受け取るべき第2の顧客に第1の顧客に代って代金を支払うため、第1の顧客が後日、証券会社に代金を支払わなかった場合には証券会社は損をするという危険性がある。

【0004】本発明の目的は、このような問題を解決し、代金の決済に伴って証券会社が損をすることがないようにした代金決済システムを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の代金決済システムは、証券会社に設置された代金振り込み装置と、売買成立場所に設置された振り込み登録装置とからなり、前記代金振り込み装置は、顧客に関する情報を保持する顧客情報保持手段と、代金を支払うべき第1の顧客に関する情報と、代金を受け取るべき第2の顧客に関する情報とを前記情報保持手段に登録する契約顧客登録手段と、顧客の預り金の額を表す情報を保持する預り金情報保持手段と、前記第1の顧客の預り金の額を表す情報を前記預り金情報保持手段に登録する預り金情報登録保持手段と、前記第1の顧客を表す所定の情報と、前記第1の顧客が支払うべき代金の額の情報を保持する振り込み情報保持手段と、この振り込み情報保持手段に前記第1の顧客を表す前記情報が保持されているとき、前記振り込み情報保持手段に保持されている前記情報が表す前記第1の顧客が支払うべき代金の額が、前記預り金情報保持手段が保持する前記情報が表す前記第1の顧客の預り金の額以下か否かを判断する振り込み代金確認手段と、この振り込み代金確認手段による判断の結果が正の場合、前記振り込み情報保持手段に保持された前記情報が表す額の前記代金を、金融機関に設けられた前記第2の顧客の口座に、前記顧客情報保持手段が保持する情報にもとづいて振り込む代金振り込み手段とを備え、前記振り込み登録装置は、端末装置と、この端末装置における操作にもとづいて、前記第1の顧客の預り金の額を表す情報を前記預り金情報保持手段から読み出す預り金情報読み出し手段と、前記第1の顧客を表す前記情報と、前記第1の顧客が支払うべき代金の額を表す情報とを前記振り込み情報保持手段に登録する振り込み情報登録手段とを備えたことを特徴とする。

【0006】

【実施例】次に本発明の実施例について図面を参照して説明する。図1に本発明による代金決済システムの一例を示す。証券会社のホストコンピュータ2は、証券会社

が契約している顧客の氏名、住所、電話番号を含む顧客に関する情報と、契約顧客の預り金の額を表す情報とを保持する契約顧客預り金情報保持手段23と、契約顧客に関する上記情報を情報保持手段23に登録する契約顧客登録手段21と、振り込みに使用できる顧客の預り金の額を表す上記情報を情報保持手段23に登録する契約顧客預り金情報登録手段22とを備え、さらに、代金を支払うべき顧客の識別情報と、顧客が支払うべき代金の額を表す情報とを保持する契約顧客振り込み情報保持手段24と、この振り込み情報保持手段24に上記顧客識別情報が保持されているとき、その顧客が支払うべき代金の額の情報として、情報保持手段24に保持されている代金情報が表す代金の額が、情報保持手段23から取り出した上記顧客の預り金情報が表す預り金の額以下か否かを判断する契約顧客振り込み代金確認手段25と、この代金確認手段25による判断の結果が正の場合、情報保持手段24に保持された代金情報が表す額の代金を金融機関3に設けられた契約顧客指定金融機関口座31に情報保持手段23が保持する上記顧客情報にもとづいて振り込む契約顧客指定金融機関口座代金振り込み手段26とを備えている。

【0007】一方、売買成立場所1には、端末装置11と、この端末装置11における操作にもとづいて、契約顧客の預り金の額を表す情報を情報保持手段23から読み出す契約顧客預り金情報読み出し手段12と、代金を支払うべき契約顧客を識別する情報と、契約顧客が支払うべき代金の額を情報保持手段24に登録する契約顧客振り込み情報登録手段13とが設けられている。なお、これら端末装置11、情報読み出し手段12、ならびに情報登録手段13はコンピュータにより構成されている。

【0008】次に動作を説明する。まず登録手段21により、証券会社が契約している顧客の氏名、住所、電話番号を含む顧客に関する情報を、振込時に本人であることを確認するための情報として情報保持手段23に登録し、次に、登録手段22により、振込可能金額の設定として、代金の支払いに使用する契約顧客の預り金の額を表す情報を情報保持手段23に登録する。以上の処理は、売買成立場所1で売買が成立するまでに事前に行う。

【0009】その後、売買成立場所1で売買が成立したときは、端末装置11を操作して情報読み出し手段12を起動し、代金を支払うべき契約顧客の預り金の額を情報保持手段23から代金情報を読み出して確認する。そして、支払い額が預り金額以下の場合には、情報登録手段13により、代金を支払うべき契約顧客を識別する情

報と、契約顧客が支払うべき代金の額とを情報保持手段24に登録する。なお、支払い額が預り金額より大きい場合には、不足金額の情報を情報保持手段23に情報登録保持手段22により登録する。

【0010】その後、振り込み代金確認手段25は、振り込み情報保持手段24に顧客識別情報が保持されているか否かを調べ、顧客識別情報が保持されているときは、振り込み代金確認手段25は情報保持手段24に保持されているその顧客の代金情報が表す代金の額が、情報保持手段23から取り出した預り金情報が表す同顧客の預り金の額以下か否かを判断する。その判断の結果、支払い代金が預り金額以下の場合には、代金振り込み手段26は、情報保持手段24に保持された代金情報が表す額の代金を金融機関3に設けられた契約顧客指定金融機関口座31に、情報保持手段23が保持する情報にもとづいて振り込み、売買成立に伴う代金決済を完了する。

【0011】

【発明の効果】以上説明したように本発明の代金決済システムでは、預り金情報保持手段に予め預り金の額が登録され、代金を受け取るべき顧客の口座に代金を振り込む際には、振り込み代金確認手段により、振り込み金額が登録されている預り金の額以下であることの確認がとられ、そのことが確認された後、代金が振り込まれる。【0012】従って、本発明の代金決済システムにより、代金を受け取るべき顧客の金融機関口座に代金を振り込んだ後、代金を支払うべき顧客から代金を受け取れず、証券会社が損をするといったことがなくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の代金決済システムの一例を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 売買成立場所
- 2 証券会社ホストコンピュータ
- 3 指定金融機関
- 11 端末装置
- 12 契約顧客預り金情報読み出し手段
- 13 契約顧客振り込み情報登録手段
- 21 契約顧客登録手段
- 22 契約顧客預り金情報登録手段
- 23 契約顧客預り金情報保持手段
- 24 契約顧客振り込み情報保持手段
- 25 契約顧客振り込み代金確認手段
- 26 解約顧客指定金融機関口座代金振り込み手段
- 31 契約顧客指定金融機関口座

【図1】

